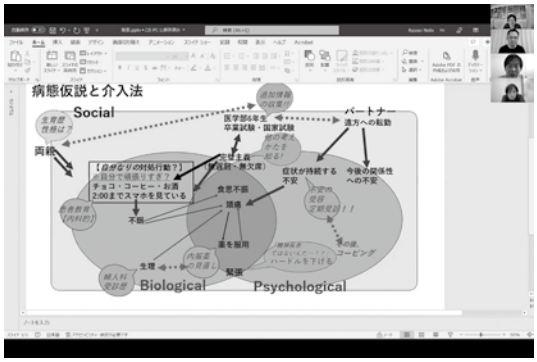
「医学生・若手医師のための第7回心身医学合同セミナー」開催報告

会　期：2022年3月6日（土）
オンライン開催

第7回心身医学合同セミナーを令和4（2022）年3月6日に開催した．今回も第6回と同様にCOVID-19の流行状況を鑑み，オンラインでの開催とした．参加者は医学生9名，研修医2名，専攻医5名，他科医師1名の計17名であった．

午前中は主に心身医学の基礎に関するレクチャーを中心に行い，午後は午前のレクチャーの内容を生かして，症例検討を行うプログラムとなっていた．はじめに，鹿児島大学の網谷真理恵先生より開催のご挨拶をいただいた．次に九州大学の宮田典幸先生から「心身症とは・病態仮説の立て方」のレクチャーを行った．心身症の概略と，病態仮説の具体的な立て方についての内容であった．次に鹿児島大学の濱田一正先生から「心身医学療法・介入法」のレクチャーを行った．ここでは心身医学療法と治療介入について，具体的な例を挙げながらレクチャーが行われた．午前最後のレクチャーは，近畿大学の阪本亮先生から実際の症例を用いて，心身医学的アプローチのグループワークを行った．

午後のセミナーは，聖路加国際病院心療内科の種本陽子先生よりグループワーク用の症例提示をしてもらった．症例は若年の薬物乱用頭痛の内容であり，病態評価と治療について，それぞれグループディスカッションしてもらった．多くの参加者がここで午前のレクチャーの内容を見ながら，病態仮説やアセスメントや心身医学的治療プランを検討し，グループごとに発表してもらった．



参加者グループ作成のスライドの一部

反省会ではオンラインでの開催方法について議論が交わされた．オンラインの場合，対面に比べ，グループディスカッションなどで相手の反応がわかりにくいというデメリットはあるが，遠方で時間的に参加が難しい医学生や研修医，専攻医も参加しやすいという大きなメリットがあると思われた．

最後に，ご支援いただいた吉内一浩先生と，日本心身医学会に深く御礼申し上げる．

文責：小山明子，中村祐三
（東邦大学医学部心身医学講座）